

令和元年度

こども文化クラブ事業実施報告書

NPO 法人 鶴岡市芸術文化協会

I 事業計画

1. 目的

芸術文化に触れ親しむ機会を設けることにより、子どもたちの豊かな心と感性を育むとともに、世代間交流の場を創出し、地域への愛着と誇りの醸成を図り、芸術文化の継承、発展を目的とする。

2. 概要

鶴岡市内の小学生児童を対象に、文芸、美術、邦楽、日舞、民謡民舞、吟詠、民俗芸能、洋楽、洋舞、演劇、茶道、華道、大衆芸能などの部門から希望する芸術文化活動を鶴岡市芸術文化協会の会員が講師となり体験する機会を設ける。

3. 事業実施主体

特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会

4. 実施対象

- (1) 鶴岡市放課後子ども教室の登録児童
- (2) 鶴岡市内の小学生児童

5. 実施会場

中央公民館、各地区公民館、コミュニティセンター等

6. 実施期間

令和元年8月から令和2年2月まで

7. 実施内容

(1) 放課後子ども教室児童対象事業

- ①実施日 令和元年8月から令和2年2月まで
- ②分野 各放課後子ども教室の希望調査により13分野の中から選定
1分野につき概ね1月1回以上（計7回程度まで）
- ③会場 各放課後子ども教室開設場所（コミュニティセンター等）
- ④発表 各地域内及び芸能のつどいなどで発表の機会をもつ
- ⑤説明会 6月26日（水）午前10時 中央公民館

(2) 市内小学生児童対象事業

- ①実施日・分野（予定）
1回目 8月24日（土）午前10時～12時 分野（詩吟、フラダンス）

2回目 9月21日(土) 午前10時～12時 分野(華道、尺八、琵琶、文化箏)

3回目 10月19日(土) 午前10時～12時 分野(茶道、ちぎり絵)

②会場 中央公民館

③周知 市広報8月1日号掲載、施設等へチラシ配布

8. 経費負担等

鶴岡市総合型文化クラブ事業(補助事業)として実施(市補助金80万円)

※参加する子どもからの費用負担は原則なしとする

9. 実施分野

①文芸 … 短歌や俳句

②美術 … 書道、絵画(日本画・洋画・ちぎり絵)、写真、盆栽等

③邦楽 … 薩摩琵琶、能楽・謡曲、尺八、大正琴、文化箏(箏曲)

④日舞 … 日本舞踊

⑤民謡民舞 … 民謡、民謡踊り

⑥吟詠 … 詩吟

⑦民俗芸能 … 民話語り

⑧洋楽 … 合唱、金管合奏

⑨洋舞 … 舞踊、バレエ

⑩演劇 … 演劇

⑪茶道 … 四流派

⑫華道 … 七流派

⑬大衆芸能 … カラオケ等

(※講師派遣については、希望する団体と協議)

II 事業実施内容

1. 実施概要

鶴岡市内6地区の放課後子ども教室と連携し、鶴岡市芸術文化協会の会員が講師となり、文芸、美術、邦楽、吟詠、民話、合唱、茶道、華道、フラダンスなどの芸術文化活動を子どもたちが体験する機会を設けた。また、中央公民館を会場に市内小学生児童を対象とした体験教室を開催した。

2. 実施分野

部門	分野	講師団体
文芸部門	短歌	黄雞鶴岡歌会
美術部門	ちぎり絵	鶴岡和紙ちぎり絵サークル
邦楽部門	尺八	鶴岡竹友会
	文化箏	山形県大正琴・文化箏愛好会
吟詠部門	詩吟	日本九重流鶴城清吟会
民俗芸能部門	民話	田川民話の会
洋楽部門	合唱	鶴岡土曜会混声合唱団
洋舞部門	フラダンス	ハウオリフラスタジオ
茶道部門	茶道	裏千家淡交会庄内支部鶴岡地区
華道部門	華道	小原流鶴岡支部

3. 実施会場

- ・上郷コミュニティセンター (上郷地区放課後子ども教室)
- ・三瀬コミュニティセンター (豊浦地区(三瀬)放課後子ども教室)
- ・由良コミュニティセンター (豊浦地区(由良)放課後子ども教室)
- ・大山コミュニティセンター (おおやま放課後子ども教室)
- ・西郷地区農林活性化センター (西郷地区放課後子ども教室)
- ・下山添公民館 (櫛引西小放課後子ども教室)
- ・中央公民館 (市内小学校児童対象の教室)

4. 実施期間

令和元年8月24日から令和2年2月28日まで

※令和元年6月に各地区放課後子ども教室を対象に説明会を開催し、実施分野及び日程を協議した。

5. 実施回数等

地区	開催数	参加者数	実施分野
上郷地区放課後子ども教室	18	241	茶道・文化箏・尺八
豊浦(三瀬)放課後子ども教室	7	98	文化箏・詩吟
豊浦(由良)放課後子ども教室	19	248	文化箏・合唱・フラダンス・茶道・華道
おおやま放課後子ども教室	6	184	短歌・民話・茶道
西郷地区放課後子ども教室	5	175	ちぎり絵・フラダンス・茶道
櫛引西小放課後子ども教室	2	33	民話
中央公民館	3	8	フラダンス・華道・茶道・ちぎり絵
合計	60	987	10分野

6. 実施状況写真



短歌

(黄雞鶴岡歌会)



ちぎり絵

(鶴岡和紙ちぎり絵サークル)



尺八

(鶴岡竹友会)



文化箏

(山形県大正琴・文化箏愛好会)



詩吟

(日本九重流鶴城清吟会)



民話

(田川民話の会)



合唱

(鶴岡土曜会混声合唱団)



フラダンス

(ハウオリフラスタジオ)



茶道

(裏千家淡交会庄内支部鶴岡地区)



(小原流鶴岡支部)

7. 子ども・関係者の声

(1) 子ども達の感想（芸術文化活動を体験して）

【上郷地区放課後子ども教室】

上郷小 2年 田川心結（文化箏）

わたしは、今年ことを体けんしました。ことは、まずはじめにことをひくためのつめをはめます。つぎにことの前にすわり、左手でおさえ右手ではじめてひきます。さいしょは、うまくひけなかったけど、先生や友だちに教えてもらいれんしゅうすることで「さくら」のきょくがひけるようになりました。ことの音は、とってもおちつく心地がよい音だと思います。教えてくださりありがとうございました。

上郷小 3年 諏訪由吾（尺八）

ぼくは、三年目の尺八教室になりました。毎日発表会に向けて練習していたら大きくてきれいな音が出るようになりました。住民のつどいでは、七曲演そうしました。その中の「浜千鳥」という曲は一つ一つの音が長くて、同じ音を出すのがむずかしかったです。「芸能のつどい」では、発表できなかつたけれど、先生に色々教えてもらって上手にふけるようになって良かったです。

【豊浦地区（三瀬）放課後こども教室】

豊浦小（三瀬）2年 鈴木心乃花（文化箏）

わたしは、ことを体験してとても楽しかったです。ことをひくのは、はじめてだったけど先生に教えてもらって「さくら」をひけるようになりました。

ことはとてもむずかしかったけれど、やる日が多かったのでたくさんことの色々なことを教えてくれて、ありがとうございます。

豊浦小（三瀬）5年 鈴木朝陽（詩吟）

ぼくは、初めて詩吟をしました。思ったことは、歌っている時にずっとせいざしていることです。ぼくはせいざは足がいたいので、やめました。それにすごく言葉をのぼしていたところもおどろきました。なのでぼくは、いっぱい息をすいまし

た。それでもできない部分があって先生はすごいなと思いました。それに休けいでチョコをくれてありがとうございます。きちょうなたいけんをさせていただき、ありがとうございます。

【豊浦地区（由良）放課後こども教室】

豊浦小（由良）2年 梅津更菜（文化箏）

わたしは、はじめてことをやったときは、少しきんちょうしたけれど、やっていくうちにどんどん楽しくなりました。『さくら』という曲をずっとれんしゅうして、ひっかからないでひけるようになりました。由良地区新年会でことをはっぴょうするとき、きんちょうしたけれど、上手に『さくら』をひけてよかったです。つぎは、『さくら』だけではなく、ほかの曲もことでひいてみたいです。つぎのはっぴょう会も、がんばりたいです。

豊浦小（由良）2年 佐藤希衣（フラダンス）

わたしは、ゆら地区のほうか後子ども教室でフラダンスを教えてもらいました。フラダンスでは、一つ一つのポーズに名前がついていておぼえるのがたいへんでした。2年生で教えてもらった「にじを」というおどりでは、フラダンスの先生といっしょにれんしゅうしてたくさんポーズやおどりをおどれたので、とても楽しかったです。フラダンスの先生ありがとうございます。3年生になっても、またフラダンスをおどりたいです。

豊浦小（由良）3年 小野友麻俐（合唱）

合唱教室にいて、わたしはとても歌を楽しくおぼえられました。中でも、一番楽しかった時は、初めての合唱教室です。先生が、わざわざゆらの歌を、作ってくれたからです。そしてさいしょにゆらの歌を、教えてくれました。とてもやさしくおしえてくれましたので、すぐにおほえられる事ができました。みんなで歌ったあと、ここをながれるようにとアドバイスも、いただきました。新しい経験もできてよかったです。

豊浦小（由良）4年 乙坂果穂（華道）

わたしは子ども教室を通して初めて、華道を体験しました。体験を通して、心に残ったことが2つあります。一つ目は、華道は日本の大切な文化だということです。昔から伝わってきた作法を小学生のうちに体験できたことです。二つ目は、花にも命が宿っているということです。その花をきれいに生けることで、さまざまな花をきれいに見せることができる華道はすばらしいと思いました。

豊浦小（由良）5年 小野俊武（茶道）

ぼくは、毎回茶道教室に行きました。茶道の先生たちは、ぼくたちにたくさんのお話を教えてくれました。一つめは、礼儀です。礼儀は、おじぎなどのことで大人

や目上の人には深くおじぎするなどということを教わりました。二つめは、お茶のたて方です。たてにしゃかしゃかしてからこの字を書くことがわかりました。茶道は、楽しかったので今年もしてほしいです。

【おおやま地区放課後子ども教室】

大山小 2年 伊藤泰良・ 4年 五十嵐快仁（短歌）

初めは何が何だかわからなかったが終わってみればまあまあ楽しむことができた。言葉をさがして、しかも五文字七文字にあてはめるという作業がむずかしかったが逆に楽しくもあった。言葉をえらぶ時に頭をつかってすごく考えたことがとても楽しく思えた。また何度でもやりたいと思う。今では俳句も作れるようになった。考えることは楽しい。

大山小 3年 佐藤愛琉（民話）

初めての「語り部」を体けんしたのは11月ごろのこと。放課後子ども教室の仲間たちといっしょに聞かせてもらいました。聞いてみると聞いたことのない話ばかり、くぎづけになりながら聞いていました。終わる時には、もっとききたいと思ったけど、その後、「もう一回ありますよ。」と聞いた時は、とてもうれしかったです。二回目も聞いたことのない話ばかりでした。今でも楽しかったことは、おぼえています。

大山小 6年 五十嵐結仁（茶道）

ぼくは、二年生からずっとお茶体験をしてきています。甘いおかしと少し苦いお茶で初めはなかなか慣れませんでした。六年になっての一月にお運びを任せられました。こしにふくさを付けてしふくにお茶わんをのせてお客様に出しました。ドキドキしましたが、きちんと動くことができみんなからほめられました。また、お点前をしておいしくお茶を頂きました。とても良い経験になりました。

【西郷地区放課後子ども教室】

5年女子 （茶道）

久しぶりに茶道で、お茶とお菓子の飲み方は覚えていて先生にほめられた。とても楽しかった。

3年女子（茶道）

茶せんのことを、しゃもじと言って、先生に笑われた。お茶をたてるのは、なかなか泡ができなくてすごく難しかった。

3年女子（茶道）

お菓子がとてもきれいでおいしかった。お茶の練習はもっとたくさんしたかったけど、時間が足りなくて、またやりたいと思った。

2年女子（ちぎり絵）

みかんのちぎり絵はけっこうかんたんだった。またつくりたいです。

2年男子（ちぎり絵）

ちぎり絵は家の玄関にかざった。つくるのに時間がかかった。指がいたくなつた。

3年女子（ちぎり絵）

去年もじょうずにできたし、ことしもじょうずにできた。とても楽しかった。またいろんなちぎり絵をつくりたいです。

2年男子（フラダンス）

去年はぜんぜんできなかつたけど、ことしは先生にほめられた。けっこうたのしかった。

1年女子（フラダンス）

先生がとてもやさしかった。みんなでフラダンスをしてとても楽しかった。

1年男子（フラダンス）

立っているだけでとてもつかれた。足がいたくなつたのですわってしまった。

3年女子（フラダンス）

手と足とちがう動きがむずかしかった。なかなかおぼえられなかつた。でも、虹の動きは覚えられた。

（2）子ども教室関係者より

- ・年を追うごとに、子ども教室関係者と講師の連携や意思疎通がスムーズになっている。時間をかけて取り組んできたおかげと思う。
- ・回数を重ねることで、子ども達にとっても、各分野への理解が深まり、芸術文化が身近に感じられるようになっている。茶道、フラ、ちぎり絵は、前年に経験していることから、要領もよくわかり、すぐに集中して取り組むことができた。各分野の専門家である講師との交流は、子ども達にとって、たいへん貴重な経験となっている。特にフラは、前年よりも子どもたちの集中力が長続きし、演目に対する興味も増していた。初めてでは理解できなくても、身体が覚えている感覚が見られた。
- ・大人の都合と、子どもの興味のマッチングは大変難しいところもあるが、子どもたちにとって貴重な体験であることは間違いないので、縮小することなく、事業は継続してほしい。このような経験は一生の財産です、との、茶道の先生の言葉が印象的です。

- ・三分野とも（茶道・短歌・語り部）大変好評でした。今回は短歌の作品を大山地区や荘内銀行に展示し、大山地区の皆さんに見て頂き、大変良かったです。
- ・初めはとまどいながらも、茶道にも少しずつ慣れて来た感じがしました。短歌も子どもたちの可能性にびっくりしています。他の文化活動もとり入れていきたいと思えます。来年度も出来る限り体験活動させて頂きたく、よろしくお願ひします。
- ・昨年まででも大人（保護者・地域）からも好評だったので、合唱と華道など教室の数を増やして実施しました。普段体験する機会の少ない活動でも子供達が好奇心を持って取り組んでくれていてよい機会を与えられたと思ひます。
- ・教室の開始当初は渋々でも実際体験すると楽しくなり「もっと」「もっと」という声が出て来ます。
- ・今年度は文化箏教室と詩吟開催しました。どちらも今年度初めての開催でしたが文化箏は先生が一人ひとり丁寧に指導してくれたので、何回か練習するとすぐに弾けるようになりました。また、詩吟は2回の開催だったので、もう少し開催数を増やしていけば、良かったと思ひます。
- ・普段子どもたちが芸術文化活動に触れる事がなかなか無かったので、今回の取り組みはとても勉強になり、興味を持てたのではないかと思ひます。

Ⅲ 事業の効果

山形県芸術文化協会の委託を受けて3ヵ年実施した「総合型文化クラブモデル事業」を継承するかたちで、今年度新たに鶴岡市の助成を受け、子どもたちが文化芸術に触れ親しむ機会を創出する「こども文化クラブ事業」を実施しました。

当協会加盟10団体から講師を派遣し、地域の放課後子ども教室等と連携しながら、延べ60教室を開催、延べ987名の児童に対する文化芸術活動の支援を通して、子どもたちの豊かな感性を育み世代間交流を実現できました。

また、活動発表の場として、地域の住民のつどいや新年会での演奏、文化祭や作品展での作品展示など、地域住民との交流を通じながら温かい励ましを受けて、子どもたちの自信につながっています。(昨年まで発表の機会となっていた「芸能のつどい」が、今年度は新型コロナの影響で中止となったことは大変残念でした。)